

## 第44回 船橋市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時：令和元年10月30日（水）

10:00～11:30

場 所：船橋市役所9階 第1会議室

出 席 者：別添名簿参照

事務局	事務局連絡
	1. 開 会
	2. 議事及び報告
議 長	それでは一つ目の議事として、令和元年度交通不便地域解消事業の実施状況について事務局から説明願います。
事務局	〈事務局より説明〉【議題1】
議 長	それではご質問ご意見、お願いします。
委 員	はい。
議 長	はい、どうぞ。
委 員	田喜野井線の1日平均乗車人数が50人減っている理由についてお聞かせいただけますでしょうか。
議 長	事務局、お願いします。
事務局	田喜野井線につきましては、道路拡張工事に伴う迂回のため、路線の変更がありました。令和元年8月16日より迂回運行をいたしまして、10月5日に工事が完了しました。現在は通常路線にて運行しております。その関係で、若干利用者が減少したものと推測されます。以上です。
議 長	他には、ありますでしょうか。よろしいですか。 それでは、お諮りいたします。令和元年度の公共交通不便地域解消事業の実施状況について、ただいまの事務局の報告及び予算要求についてご異議はございませんでしょうか。
委 員	異議なし。
議 長	ありがとうございます。

	<p>それでは、令和2年度の八木が谷・田喜野井の二地区における運行経費に関する不足分については予算要求をして参りたいと考えております。</p>
議 長	<p>それでは次の議題に入ります。 船橋市地域公共交通網形成計画策定調査業務について、事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>〈事務局より説明〉【議題2】</p>
議 長	<p>今、お話しがありましたとおり、これから皆様方に個別に色々な相談とかなされることとは思いますが、今日の時点で質問とかご意見を頂ければと思います。よろしく願います。 では、ちょっと切り出しだけ。 資料の6ページで、網形成計画のイメージが、私も含めてまだ湧いてない方が多いような気がします。これは、計画の中でどんなことが書かれていくものなのでしょうか。</p>
事務局	<p>計画書の中に、役割を書くことになります。実施主体がどこかを書くことなのですが、それは市であったり事業者であったりということになります。また、地域住民の方の役割としましては、メニューの中で今後公共交通を積極的に使うようライフスタイルを変える取り組みをしますというような場合がありますら、その場合、地域住民は積極的に利用するという役割をもつということになります。それから、地域住民が主体となってというメニューがあがってくるということになりましたら、その検討の主体は地域の住民の方ということになります。 目標につきましては、例えば利用客数、市民のみなさんの満足度、認知度などのメニューを考えます。メニューは、可能な限り数値化した目標を掲げましょうという国からのご指導もございますので、なるべくそのようなものになって参ります。もし必要でしたら、運輸局さんにフォローしていただけたらと思います。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。 委員のみなさん、よろしく願います。 どうぞ。</p>
委 員	<p>分かりやすいというところで、たぶん今数値化というところだと思うので、今後の進め方とかアンケートとかの内容等によって決まってくるのかなと思っております。分かりやすいというところで、まずは数値化だと思います。以上です。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。 はい、願います。</p>
委 員	<p>今のバスの現状を考えると、人手不足が顕著であって、なぜかという、労働</p>

	<p>条件が過去は良かったのですが、非常に競争原理にさらされて上げられない。運賃値上げもできない中で労働条件が上がらないから人も集まらないという状況がありまして、つい今月なのですけど、新船橋走っていたシーサイドバスがイオンを中心としたバス路線を撤退され、それを京成バスと船橋新京成バスで運行を始めることになりました。何故撤退したかという、やはり人が集まらないから、または儲からないからということ、やはり、民営ですから、収益状況によっては、今後撤退をする可能性があるというところで、そういった危惧も含めた形成計画を立てていく必要があるのではないかなと思います。そこに何が必要かという、やはりお金やニーズが無ければ走らなければいいというようなこともあるでしょう。計画にあたっては提供する側の調査も進められるということですから、その内容については私たち労働団体も含めてご相談いただくと現状を報告させていただけるかなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございました。 よろしくお願ひします。</p>
<p>委 員</p>	<p>今のお話から市民生活における行政の役割ということになると思ひますね。地域活性化しているところは、行政が積極的にコミュニティバスを運行しているという現実はあると思ひます。そこが一点。それから二点目ですけれども、ご説明の中で、まちづくり、それから地域の人の役割分担というお話がありましたけれども、まちづくりとこの公共交通がどうリンクしていくのか、非常に難しい視点であると思ひますね、地域の町会・自治会をこの計画に絡めていくのかどうか。</p> <p>私、今日ここに来るまでにちょっと思ひしたのは、公共交通活性化協議会＝高齢者社会の到来に向けてどう移動手段を確保していくかということなのだろうと思ひますね。</p> <p>今回私が評価しているのは、観光振興というのは新しく言葉として出て参りましたので、運行をするときにどう観光施設と連携させていくのか、あるいは地域のイベントとどう連携をとっていくのかというふうな視点を、この令和元年度の計画には重要な事柄ではないかなと思ひているところです。ひと言でまちづくりと言ひますけれども、これは非常に難しい5文字だと思ひますね。</p> <p>14ページですけれども、評価分析、基礎情報の整理のところ、人口増減・バス本数・施設分布というのがあります。これが、いつ時点の情報なのか。私西部地区ですので、バス本数と施設のところで西側のところに黄色くなっているところが、私の住んでいるエリアの塚田地区だと思ひますね。ここは、南北格差と東西分断されているエリアで、バス本数も少ない、施設も少ないというところで、他人が移動するのがあまりない。北側の方は、交通網もこの10月で民間の市川自動車教習所の高齢者支援協力バスが休止しましたので、そういったバスも一切ありませんという交通不便地区に一気に躍り出たというエリアでもあります。高齢化の話、まちづくりの話と申し上げましたけれども、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。以上です。</p>

議 長	<p>ありがとうございます。 このデータはいつ時点のものですか。</p>
事務局	<p>事務局のほうから最後のご質問についてご説明いたします。 大変恐縮なのですが、資料に記載しておけばよろしかったのですが、基礎情報の整理はこれから行わせて頂きます。このスライドにつきましては、これからこのようなイメージで整理していきますよということで、イメージとしてお示したもので、イメージとしてとらえていただければ幸いです。因みにここに書いてあるデータですが、人口増減はもちろん国勢調査のデータで、バス本数施設分布も国土地理情報というオープンになっているデータですので、数年前のデータでイメージを示しております。これからデータなり現状を整理して参りますので、その際は公共交通事業者様とご相談しながら、なるべく新しいデータで整理していくということになります。 以上です。</p>
議 長	<p>これはあくまでもイメージということで、これから整理されるということなので、最新のもの、どこまで最新のものかとなります今年度とか、そういう状況のものをふまえたものになるということですね。 まちづくりと地域公共交通の間をどう考えるかという難しいご質問もございましたけど、なにかありますか。</p>
事務局	<p>事務局の方からまちづくりとの関係なのですが、交通につきましてはあくまで手段であって、目的ではないというところがございます、どこかに行きたいということがないと移動しないということになります。ですから、その目的とは何かまちづくりとリンクしてきまして、例えば、何かイベント、催しがあるからそこに出かけようという気持ちになるとか、通勤通学の方は仕事に行くとか、学校に行くとか、それが目的となって、交通をご利用するという形になりますので、まちづくりにおいては、その目的の部分ですね、そこをしっかりとつくっていくということが重要になるかと思えます。以上です。</p>
議 長	<p>ニーズとはそこにあるだけのものじゃなく、つくっていかないといけない部分もあるでしょうから、そういうことも含めて考えていくということですね。 他にご意見いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>はいお願いします。</p>
委 員	<p>回答ありがとうございました。要するに出かける目的が何かということが大事であるということで、市民代表としてはね、今日行くところがある、今日用があ</p>

	<p>る、「今日行く」「今日用」と言っているところですけど、こういったのを市民代表として考えていかなければならないと思っております。「今日行く」と「今日用」です。以上です。</p>
議 長	<p>はい、どうぞ。</p>
委 員	<p>先ほどから色々な方から意見出ておりまして、私も比較的広域にバスを運行している事業者として、いくつかのこういった協議会に出しておりますので、そういった中でバス事業者としての立場で少しお話をさせていただければと思っております。</p> <p>交通網形成計画策定会議に色々な所に出ておりますけれども、地域住民の皆様、行政の皆様、交通事業者のわれわれ、3者それぞれで役割分担ということが出ております。ここが非常に重要なところではないかと考えております。先ほども労働組合の方から発言がありましたけれども、民間のバス事業者としては、これまで色々なネットワークを引いておりました。比較的儲かっている地域の収益をもって、ローカル部のネットワークを維持してきた、あるいはそもそも走れる道路環境のところネットワークを構築してきた。この歴史の中で、モータリゼーションとともに利用者が減ってきて、民間としてやりきれない部分がどんどん廃止になってきて、結果コミュニティバスに代わってきたという歴史をたどっているところは皆様ご理解頂けるかと思えます。ただこういったコミュニティバスも先ほど実施状況でありました、収支率とすると、50パーセント、60パーセントという中で、事業者としては効率的運行の努力をしてきている、ネットワークを維持しようとしている、これが一つの役割と思えます。それで役割が賄えきれない部分を行政の役割として、補助金としての税金を投入し、そのネットワークを維持しようとしている。市の立場からすると、ずっと固定費としてかけ続けられるのか、市の財政も含めて、そういった検討をしていかなければいけない。一方、利用者の役割という部分でいくと、これから始まっていく実態調査としてのアンケートを含めてなのですが、先ほども交通は手段です。目的ではありません。というお話があった中で、本当に使うものなのか、便利レベルのものではなくて、本当に乗っていただけるのかというのがベースにないと、計画というのが夢物語になってしまい、実態を伴わないということになりかねないと思っております。なので、そこにどれだけ切実さがある、しっかりとそういった必要だということがあって、今までの公共交通はどちらかというと鉄道とバスというところに、公共交通網としては修練されてきたわけなのですが、高齢化も含めてですね、それに伴わないタクシーの皆様ですとか、場合によってはシェアサイクルになるとか、本当にいろんな交通手段をもって、面が広がってちゃんと維持されていく、計画ができていくことが一番望ましいのだろうと思っております。他の自治体のこういった会議を経験してきた中では、そのように感じております。そういった所に向けて、これから皆様の知見が集約されるということをご参考までにご意見させていただきました。以上です。</p>

議 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>アンケートをこれからされるということでしたけれど、今お話にあったようにあればいいじゃなくて本当に必要なものをあぶりだすには、どのようなやり方をお考えでしょうか。もしあれば教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>アンケートですけれど、市民の方に今後の改善のご意向ですとか、例えば将来の不安とか、アンケートで伺おうと考えております。さらに改善の希望を多くの方がされると思うのですけれど、アンケートの中で、「そのように改善されたらこの先今より乗るようになりますか」というような設問を設けて、みなさまのこの先のご意向を把握するつもりではあります。ただ、設問の設け方につきましては、熟考していきたいと思います。以上です。</p>
議 長	<p>どうぞ。</p>
委 員	<p>まずまちづくりの中で、観光を重点においてやっていくということを計画の中でございました。観光事業となると、船橋市では船橋市観光協会という法人化された観光協会さんがございますので、その連携も含めた計画を策定していただければよいのかなと考えております。それともうひとつ、当社は船橋駅から南側の方、ららぽーとですとか、船橋の海浜公園の方に行ったりするのですとか路線を運行しておりますけれど、非常に道路渋滞が激しいところでございます。例えば船橋駅から通常ですと全く道路が渋滞していないと、ららぽーとまで10分で行けるのですけれど、渋滞していると、30分、40分、中には行くだけで1時間もかかってしまうこともございます。そういった中で利用者の方にアンケートをして、バスは多い方がいい、本数が多い方がいいというのが出てくると思うのですけれど、残念ながら渋滞で全く走れないといった部分もございます。そういった中で、道路網の整備だとか、あるいは南口の西武百貨店が撤退したあとの再生計画とか、バスの駅前広場の拡張ですとか、そういったものを進めていくべきかと思っております。やはり道路渋滞というものが激しいということで公共交通の利便性が損なわれる要因ともなっておりますので、そのへんも含めて連携をとって計画を進めていただけたらと思います。以上です。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>重要な課題だと思います。</p> <p>網計画の中で例えばインフラ、道路が混んでいてやろうにもできないとか、そういうのも会議の中で問題提起ができるものでしょうか。</p>
事務局	<p>道路整備には優先順位があるのですけれども、例えば公共交通の側から見て、優先順位を上げるというような内容を計画の中に入れ込むことは可能かと思えます。もう一点重要なのは、道路整備と併せて自家用車を減らすというような取り組みですね。それをいかに進めていくか、地域住民の意識の改革というのですか、そういうものが必要になってくるのかなと思います。</p>

	<p>それから、何かインセンティブを設けることによって、公共交通に乗り換えてもらうというような取り組みですね、こういうことを計画の中に取り込んでいくことで、道路整備もしつつ、自家用車を減らして公共交通に乗り換えてもらうということが同時にできれば、スムーズな運行が可能なのかなと考えておりますので、そのあたりを計画に盛り込めればと考えております。以上です。</p>
<p>議 長</p>	<p>具体的な議論は難しいところだと思いますが、わかりました。 他にご意見お願いいたします。 どうぞ。</p>
<p>委 員</p>	<p>今、お話がありましたけれども、中心市街地と郊外で考えないといけないと思うのです。2極化です。そういう世界で考えますと、もうすぐモータリゼーションが崩壊していく時代を迎える高齢者社会の突入とともに、そういう中で、ある自治体では路面電車の復活を考えているようです。郊外には路面電車、というのもありかなというので、計画段階ですので、路面電車という項目も、船橋は路面電車が走ったことはないとは思いますが、そういうのも一つのアイテムとして考えていただければと、実現するとは別として、そういうのもありなのではないかと検討段階に入れていただければと思います。以上です。</p>
<p>議 長</p>	<p>今後の時代に即したどういう交通システムであるべきか考えていただければと思います。 他にご意見ご質問があればよろしく申し上げます。 どうぞ。</p>
<p>委 員</p>	<p>いくつかあるのですが、7ページのスライドの中ですけれど、われわれが先行でやってきた連携計画というものがございまして、それに基づきコミュニティバスというのを走らせてきたと思いますので、これをしっかり位置づけて、これを評価して何ができて何ができなかったのか、達成できたのかというPDCAをしっかりと回す枠組みにしてもらいたいと思っています。これが一点ですね。</p> <p>9ページですけど、コミバスはしっかりやってきたと思いますので、そこはしっかりと明記した方がいいのかと思います。路線バスの下のあたりにでも、しっかりとこれは入れておいた方がいいのかなと思いました。</p> <p>それから13ページですけど、これは要望になりますけど、船橋の課題だけを探っていたら新しいものがなかなか出てこないの、海外も含めていろんな先進技術も含めて、そういったものを調べて整理するところを是非追加していただきたい。それを受けながら課題をどうやって解決するかできると思いますので、その部分を是非入れていただきたいと思っております。</p> <p>それから、15ページで確認したいのですが、市内の方に限らず市外からも広域にいられている方が沢山おられると思うのですが、そういった方々へのアンケートですとか、施設へのヒアリングですとか、そういったことをされる</p>

	<p>のかどうか、是非そのところをお伺いしたいと思います。</p> <p>私も様々な地域の公共交通活性化協議会、千葉県内かなり入っておりますけど、船橋はかなり恵まれた地域だと思います。公共交通的には。いろんなことができる可能性がある、逆に制約も多い。それは沢山の事業者さんがいて、あるいは混雑、先ほどいろいろありました通り、田喜野井のような道路が狭くて結局小さなワゴン車しか走らせられない。そういうようなところも含めて、どう改善していくか大胆に考えていく必要がある。LRTでなくてもBRTという考え方もありますし、それに駅広に関しても、もう駅広ではなくて、大きなターミナルでも良いのではないかとというぐらいバスが入っています。今、新宿のバスタのようなものが日本中いくつかできていますから、もうそのくらいのクラスのことをやらないと、この船橋、特に船橋駅に集まってくるバス、津田沼駅もそうですけど、これを捌くことはなかなかできないのではないかと思うのですね。そういう大胆なことも検討はしていただきたいし、その他の部署とも連携をさせていただきたいし、広域ですので周辺の市町村ともしっかりと連携し、強調した計画を大胆に作っていただきたいというのが僕の思いです。そうすることでサービス向上、利用者増につながって利便性が上がって、利用者増につながってプラスなスパイラルアップをできるようにしていただきたいと思います。</p> <p>細かいところでできるところできないところを精査していただけたらと思います。</p>
議 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の時点で答えられることありますか。</p>
事務局	<p>商業施設のアンケートについては、今まで検討対象になかったので、今後検討させていただければと思います。重要なお意見だと思います。それから、先進事例につきましては、内容を盛り込むように考えて参りますので、よろしく願いいたします。以上です。</p>
議 長	<p>はい、他ご意見等ございますか。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委 員	<p>2つほど気になったところがありましたので、まず1点目はですね、6ページ、公共交通網形成計画の留意点で、まちづくり、観光振興等の「地域の戦略」との一体性を確保するというところで、既存の計画、こちらでは船橋市の都市計画マスタープランだとか、船橋市立地適正化計画と諸々の計画が枠となっておりまして、色々な福祉とか、観光とか環境となりますと、単独の自治体だけの計画に収まらなくて、場合によっては千葉県さんの広域的な労働者に対する雇用政策みたいなものなど、様々な計画がたくさんあるわけでございます。</p> <p>そこで、目的と手段を完全に分けて、手段だけの議論となりますと、ニーズだけ聞いておいて整理したときに、協議会に来る前に落ちてしまうのではないかなと。ニーズという考え方は、非常に重要で、この点を考慮しながらこの協議会で</p>

	<p>地域の戦略性の一体性についてどのように議論するのか。ここが1点目なのですが、あともう一つはですね、14ページ公共交通事業者へのヒアリングとございます。対象には鉄道もタクシーも入っているのですが、このような公共交通事業者へのヒアリングは、これだけ沢山あるところにヒアリングに行っていただけなのか、今後のスケジュールを見ますと、今日もう10月の下旬でございます。2月まで期間も大変短いわけでございます。15ページを拝見すると、市民へのアンケート調査とか、公共交通利用者のアンケート調査というのが色々どの部分を聞くのかという内容が書いてございまして、要するに期間が短いので、みんな聞きまくってあとで整理となると、結局ヒアリングとかアンケートの内容がこのまとめの方向性の時に中途半端なものになるのではないかという気がしまして、作業スケジュールをお伺いできればと。以上です。</p>
<p>議 長</p>	<p>はい、2点今ご質問がありました。地域の戦略との整合性とかそういうものについてどう考えているのかというお話と、もう一つは公共交通各社へのヒアリングのやり方について今どのようにお考えなのかというのをお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず戦略の話なのですが、船橋市内のバスにつきまして、一日平均7万人以上のご利用がございまして、そういった方々のニーズというのが当然あるわけで、そこについていちいち目的がどうって話ではないと思います。既存でご利用されている部分についてはさらに利便性を高めるとかそういう話になるかと思いません。まちづくりに関しては、新たに何かできないかという部分に関しては引き続き一緒に計画を立てていくものと思います。それからスケジュールなのですが、今回非常に時間が短い形となっております。なぜかという、プロポーザルで業者を選定するのに時間を要したという部分がありまして、もう一点、移動の実態調査でパーソントリップ調査というのを利用しようと考えておりますが、こちらはまだ国からの最終的な報告が上がってきていない状況で、調査に関しては若干時間がかかるのかなと危惧しております。もう一点、地元話を聞くという部分ですね、アンケート等である程度抽出した中で、考えていこうというところがございまして、2月に間に合うのかというところは若干次年度にずれてくる部分があると思います。当然事業者さんへのヒアリングについても同じようなことが考えられます。来年度のスケジュールなのですが、その辺が若干ずれた場合、課題の整理というのが2月の時点で全てできるわけではないと考えておりますので、令和2年度にもその部分が出てくるのかなと思います。ヒアリングもこの計画の中に例えば事業を実施するというのが出てきた場合、それは事業者さんが乗ってくれないと絵に描いた餅になってしまうので、そこは十分詰めていかないといけない部分なので、何回もお話しさせていただくことになるかと思いません。そういうことなので、委託については年度内には終わらせるという形になりますが、検討については次年度以降も引き続き検討して行って、フィードバックという形でそこはまた何回も議論を続けていく必要があります。最後に鉄道事業者なのですが、来年度以降の協議会につきましては、この協議会の通常の開催だけで</p>

	<p>は足りないと考えておりますので、鉄道事業者さんも入れた中で、ワーキンググループというものを設定して、その中でさらに議論していくというような2段階の構成で今のところ考えております。これにつきましては、次回以降の協議会の方でまたお諮りいただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>実態というか事実に基づかないのはやってもしょうがないので、その実態把握の部分も丁寧にやるということで、スケジュールに関しては今もお話があったように予算もある中でのスケジュールの設定となっておりますけど、来年以降もどうしていくのか議論させていただけたらと思います。</p> <p>この他に何かございますか。</p> <p>どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>1点ご要望と1点ご質問させていただきたいと思うのですが、要望は、観光振興との地域戦略のことにに関してなのですが、そういったところの目的を作って、観光目的の方を招くというようなのをビジョンとして捉えていった場合に、現状ですと、そこに行くときにみなさん乗用車で行かれると思いますので、これから地域の戦略として立てていく場合も公共交通が利用促進できるような計画として入れていっていただきたいというのが要望です。2点目ご質問ですが、先ほどから船橋市内の渋滞の件でかなりお話が出ていたと思います。我々船橋新京成バスは、船橋駅北口のところの路線を担当しております、非常に激しい渋滞をしていますけれど、利用者へのニーズとか事業者へのヒアリングで地域の現況、概況把握、渋滞の現状の把握についての調査の方法はどのような方法で考えておられるのか、ご質問したいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>はい、事務局お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>渋滞に関することは道路計画課の立場でお話させていただきたいと思います。おっしゃられるように、JR船橋駅の北口とかいうと、バス網のすべてが北口に集まっているということで、渋滞箇所というのは一つの課題ということでやっていますが、船橋市が管理している道路だけではないので、管理部署とも渋滞緩和に向けて市の方は動いています。その中で渋滞解消の目的として一番大切なのはバスの定時性の確保というのが一番大切と道路計画課では思っておりますので、それがないとバス利用者がだんだん離れて行っちゃうというのがありますので、渋滞の解消は大切だと思っております。絶えず渋滞の解消とは念頭において取り組んで参ります。</p> <p>また、バス事業者様の方にヒアリング等させて頂きますので、本当に朝のラッシュアワーの時だけ渋滞が顕著でバスが遅延するということは恐らく乗務員さんとかは肌で感じられていると思うのですが、そういった実態のお声もあわせてお伺いさせて頂きたいと思っております。以上です。</p>

議 長	<p>他いかがでしょうか。</p> <p>どうぞ。</p>
委 員	<p>渋滞に関してかなり取り組んで、解消に向けて考えているとは理解できたのですが、今回網計画策定にあたって、渋滞の調査、ヒアリング等も含めて行われると思うのですが、実際の現状を把握した上で計画を立てるとというのが一番だと思いますので、正直季節とか時間帯などによってかなり例えば船橋でいうと東武デパートの催しとか、そういったものでも非常に変化してきますし、南口でいうと夏場は海の方へ向かう方がいたりとかからぼ一とでセールがあるとかそういったものもあると思うのですが、非常にきめ細かい実地調査というのかというのが必要になってくると思いますので、そのあたりの調査を今回どうやって聞くのか非常に短かったのではどのような形で進められるのかなというのを聞きしたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
議 長	<p>事務局、お願いします。</p>
事務局	<p>今調査を考えているのは、交通センサスというのがありまして、そちらでの調査が主となります。これが基礎調査になりまして、細かい部分に関してはヒアリング等でカバーしていくというような形になるかと思えます。以上です。</p>
議 長	<p>交通センサスとはどのようなものですか？</p>
事務局	<p>国県道が主なのですが、5年に1回、この辺では首都圏の調査に入るのですが、車の台数を測るという感じですね。それを組み合わせてどこにどういう渋滞があるかというのを把握すると、どれだけ車が走っているのかを把握するものなのですが、逆読みすれば渋滞がどこで発生しているのかというのを明確にするというような調査になります。以上です。</p>
議 長	<p>よろしいですか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>どうぞ。</p>
委 員	<p>すみません。私も今の点についてはセンサスだけでは不十分かと思えます。今ご質問あった点は、今船橋市のバス事業者さんはほとんどGPSを積んで、アイワイカードも出てということでして、そういうデータを見れば明らかにわかりますので、是非そういうデータをバス事業者さんから提供いただいてきめ細かな今の時間帯や曜日やイベントと合わせたことをやらないと、きめこまかなことが出てこないかなと思います。是非そのようなきめ細かなデータ分析をして頂きたいと私からも思いました。以上です。</p>

議 長	<p>そう、そうですね。 いかがですかね。</p>
事務局	<p>その点については検討させていただきます。以上です。</p>
議 長	<p>はい、そのほか何かございますか。</p> <p>はい、この場以外でも色々ご意見等がございましたら、頂けたらと思いますので是非よろしく願いいたします。</p> <p>2番目の議題、船橋市地域公共交通網形成計画の策定調査業務の説明とご質問は終わります。</p> <p>最後に、その他ですが、今後のスケジュールについて事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>〈事務局より説明〉</p>
議 長	<p>はい、今協議会自体は2月ということですが、そこまでのご相談や調査については非常に大事になってくると思いますので、皆様方ご指導の方をお願いします。</p>
議 長	<p>他、何かご意見等はございますか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>はい。お願いいたします。</p>
委 員	<p>情報ということなので、「つけて走って広げよう、地域の魅力！」のご当地ナンバー、図柄入りナンバーが船橋市さんでもつくられるというのが一応今月の18日に国交省からプレイスリリースされております。図柄入りナンバーというのは、一応寄付金を1000円以上払っていただきますと、交通改善とか観光振興に資する取り組みについて当てられますので、今日市民の代表の方も来ておられますので、是非周知の方を図っていただきながらこの船橋をPRしていただきたいと思っております。以上です。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>はい、それではこれで「第44回船橋市地域公共交通活性化協議会」を閉会いたします。</p> <p>皆様、本日はお疲れ様でした。</p>